

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-II-5

5-II
-5

5-II -5	章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	地場産業の活性化
	節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市農業政策課
	事業(施策)名	5 佐渡特産品の高付加価値化	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡連合商工会
	事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○世界遺産ブランドを活用した地元特産品の高付加価値化を推進し、地場産業の活性化を図る。		
	【事業内容】	○地場産品に世界遺産ブランドのイメージを付加することで商品価値を高めるとともに、佐渡金銀山のPRと連動した販売促進等により、地場産業の振興を図る。		
③0 事業計画と実績	【30年度計画】	●平成30年3月に世界農業遺産ブランドマークを公募し、作品を選定したことから、佐渡産米及び果物等でのブランド向上に着手する。		
	【30年度実績】	●佐渡市世界農業遺産ブランドマーク実施要綱を制定した。認証要件は、幹事会で検討中。世界遺産ブランドの普及啓発も含めPRに努めた。		
	【課題】	■世界農業遺産自体の認知度が低い。		
	【今後の取組】	■認証要件を設定し、ブランドマークのさらなる活用を図る。 ブランドマークを通じてGIAHSの認知度を上げるために、申請数を増やす。HPなどSNS活用、関係機関への働き掛け。		
事業評価	【事業の達成度】	■佐渡市世界農業遺産ブランドマーク実施要綱を制定し運用を開始したことから申請があがってきている。 ブランド産品の申請者自らが積極的な発信者となりブランド向上に繋げていく。		
	[a ● b ● c]			
	【事業実施の効果】			
	[a ● b ● c]			
	【総合評価】			
	[A ● B ● C]			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。